



慶應義塾大学グローバルCOEプログラム

論理と感性の先端的教育研究拠点

慶應義塾大学 CARLS 哲学・文化人類学シンポジウム

Frontiers of Anthropological Expression

Towards a New Relationship between Observation and Expression Using Visual Images and Other Art Forms

人類学的表現の新地平を求めて

- 映像とアートが紡ぐ記録と表現の新たな関係 -

日時: 2009年12月15日(火) 18:00 ~ 19:30

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス・東館6F G-sec Lab. <http://www.keio.ac.jp/access.html>

今回の企画では、映像人類学の原光景を振り返りながら、フィールド映像記録と表現の問題を、学術映像とアートの中に横たわる諸問題とつきあせて再検討します。さらに、今日めざましく発展・革新された映像手法を用いて新たな映像人類学的作品が生み出されている状況に照らして、この論点を新しいかたちで展開させたいと思います。その目的のため、世界的映像人類学者をお招きして討論をおこないます。映像人類学とアートの問題領域にあらわれる文化に条件づけられた感情・感性の問題も扱います。

2009年12月15日(火)

シンポジウム 「映像記録とアートの感性」

18:00 基調講演 Karl Heider (University of South Carolina)

Rethinking Emotion in the Ethnographic Film *Dead Birds*

指定討論 橋本順一 (慶應義塾大学) 大杉高司 (一橋大学) 他

c.19:15 討論 司会 宮坂敬造 (慶應大学)

会費無料・事前登録は不要

備考: 当初来日予定であったイギリスの社会人類学・映像人類学者 Sarah Pink ラフバラー (Loughborough) 大学教授は、体調不良のため、来日中止となりました。なお、確実ではないものの、当日、論文寄稿、さらに、遠隔通信により部分的に参加される可能性があります。

今回は、慶應義塾大学アート・センターと以下との共同開催のかたちでおこないます。

企画 慶應義塾大学内・相互的感情身体知の文化医療人類学・人間科学研究会

慶應義塾大学 GCOE 「論理と感性の先端的教育研究拠点形成」文化人類学チーム

お問い合わせ先: 慶應義塾大学文学部・同アート・センター所員・宮坂敬造 Fax: 03-5427-1578

<http://www.carls.keio.ac.jp/>

Centre for Advanced Research
on Logic and Sensibility